



タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「行政政策学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	問題探究セミナー I		
担当教員	新藤 雄介		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	行:1
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g3310010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術 本質を見極めるための教養と学際性 協働的な問題探究 社会の改善につなげる創造性 市民としての主体的態度	20 % 20 % 30 % 20 % 10 %
授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表 <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	<p>「朝ドラ『エール』と地域の取り組みと報道」 2020年4月から、NHKの朝の連続テレビ小説で、福島市出身の作曲家古閑裕而もモデルにしたドラマが放送される予定になっています。主演は窪田正孝で、その妻を二階堂ふみが演じます。放送決定が発表されたのは2019年2月で、それから現在まで、地元紙ではすでにさまざまな地域の動きを伝えていきます。</p> <p>このゼミでは次の4つのことを行います。1つ目に通年を通して、朝日・読売・毎日・日経・産経・民報・民友・河北の新聞8紙の『エール』関係記事を収集し、記事リストを作成します。2つ目に前期では、古閑裕而関係書籍を読み、基礎知識を学ぶとともに、レジュメの作り方や報告の仕方を学びます。3つ目に、後期では、地域の取り組みについて関係者に聞き取り調査を行います。最後、4つ目に、4月～12月までの記事で報道の動きをまとめ、記事リストと聞き取り調査の内容を掲載した報告書を作成します。</p> <p>ドラマを使ったある種の街おこしが、どのように行われているのかの一例を現在進行形で観察するとともに、何が上手いき、何がそうでなかったのかなども見えてくるはずでしょう。また、そうした視点で見ることに意味があるのかもどうか、浮かび上がるかも知れません。</p>		
単位認定基準	1.学習集団の中で協働的に課題に取り組むことができる。 2.設定したテーマに関する文献を読み、要約することができる。 3.必要な形式を守ったレジュメやレポートを作成することができる。 4.設定したテーマについて他者に伝えることができる。		
授業計画	第1回 インTRODククション 第2回 文献報告 1「第2章 コンテンツツーリズムへの展開」(『巡礼ビジネス』) 第3回 文献報告 2「第3章 観光資源を生む「創造性」」 第4回 文献報告 3「第5章 観光「資産」化への道」 第5回 文献報告 4「第6章 巡礼ビジネスに必要なこと」 第6回 ゲスト講師 第7回 地域の取り組みの聞き取り報告 1 第8回 地域の取り組みの聞き取り報告 2 第9回 地域の取り組みの聞き取り報告 3 第10回 地域の取り組みの聞き取り報告 4 第11回 地域の取り組みの聞き取り報告 5 第12回 冊子の構成の検討 第13回 冊子原稿の検討 1 第14回 冊子原稿の検討 2 第15回 冊子の完成		

教材・教科書	<p>刑部芳則『古閑裕而』(中公新書、2019年) 国分義司・ギボンズ京子『古閑裕 1929/30』(日本図書刊行会、2014年) 菊池清麿『評伝 古閑裕而』(彩流社、2012年) 齋藤秀隆『古閑裕而 うた物語』(歴史春秋、2010年) 古閑裕而『鐘よ鳴り響け 古閑裕而自伝』(集英社文庫、2019年) 長尾剛『古閑裕而 応援歌の神様』(PHP文庫、2020年) 青山誠『古閑裕而 日本人を励まし続けた応援歌作曲の神様』(中経の文庫、2020年) 古閑正裕『君はるか』(集英社、2020年)</p>
参考図書	<p>長島一由『フィルムコミッションガイド』(WAVE、2007年) 岡本健『コンテンツツーリズム研究(増補改訂版)』(福村出版、2019年) 岡本健『巡礼ビジネス』(角川新書、2018年) 岡本健『アニメ聖地巡礼の観光社会学』(法律文化社、2018年) 中村忠司『大河ドラマの舞台地となった自治体の施策について』『観光研究論集』17号(2019年) 中村忠司『大河ドラマを活用したシティプロモーションについて』『コンテンツツーリズム学会論文集』5号(2018年) 中村忠司『コンテンツを媒体とした地域リレーショナルシップ形成要因に関する考察』『地域活性研究』7号(2016年) 中村忠司『コンテンツツーリズムの旅行者行動と地域振興についての考察』『コンテンツツーリズム学会論文集』2号(2015年) コンテンツツーリズム学会『コンテンツツーリズム入門』(古今書院、2014年)</p>
参考URL	
授業以外の学習	レジュメの準備のための読書、資料調査のための下調べ。
成績評価の方法	レジュメ作成(30%)・調査報告(30%)・レポート(40%)によって評価します。
成績評価の基準	<p>S:単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学習成果をあげた(90~100点) A:単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学習成果をあげた(80~89点) B:単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学習成果をあげた(70~79点) C:単位認定基準を満たす最低限の学習成果をあげた(60~69点) F:単位認定基準の学習成果をあげられなかった(~59点)</p>
オフィスアワー	ご遠慮なくお声がけ下さい。随時予定調整して、応じます。
授業改善・工夫	自ら主体的に調査する機会と時間をより重視した。
留意点・注意事項	
教員の実務経験の有無	なし

